

2014年（平成26年）

# ハタハタ情報 No.1

平成26年9月19日発行

中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

－後日にインターネットからもご覧いただけます－↓

マリネット北海道 : <http://www.fishexp.hro.or.jp>

水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査期間】 2014年9月9日～9月10日

【調査海域】 雄冬岬沖の水深 200～280m の海域においてトロールを曳網し、ハタハタの採集試験を行いました。6 調査点で計 15 尾（0 歳魚を除く）の標本を採集し、体長測定などを実施しました。

- 採集状況は過去最低の水準（1マイル曳網あたり平均1.36尾）
- 1歳魚（2013年級）が主体か。ただし採集量が少ないため不明瞭
- 1歳魚の成熟状態は昨年よりさらに遅く

## 1. ハタハタの分布状況（図1）

期間中は風も良く調査は順調に行われましたが、ハタハタの平均採集尾数は1マイルあたり 1.36 尾と過去最低の水準となりました。今期に漁獲対象とならない0歳魚は例年になく多く採集されたものの、1歳魚、2歳魚ともにいずれの水深帯でも明瞭な分布を確認することができませんでした。

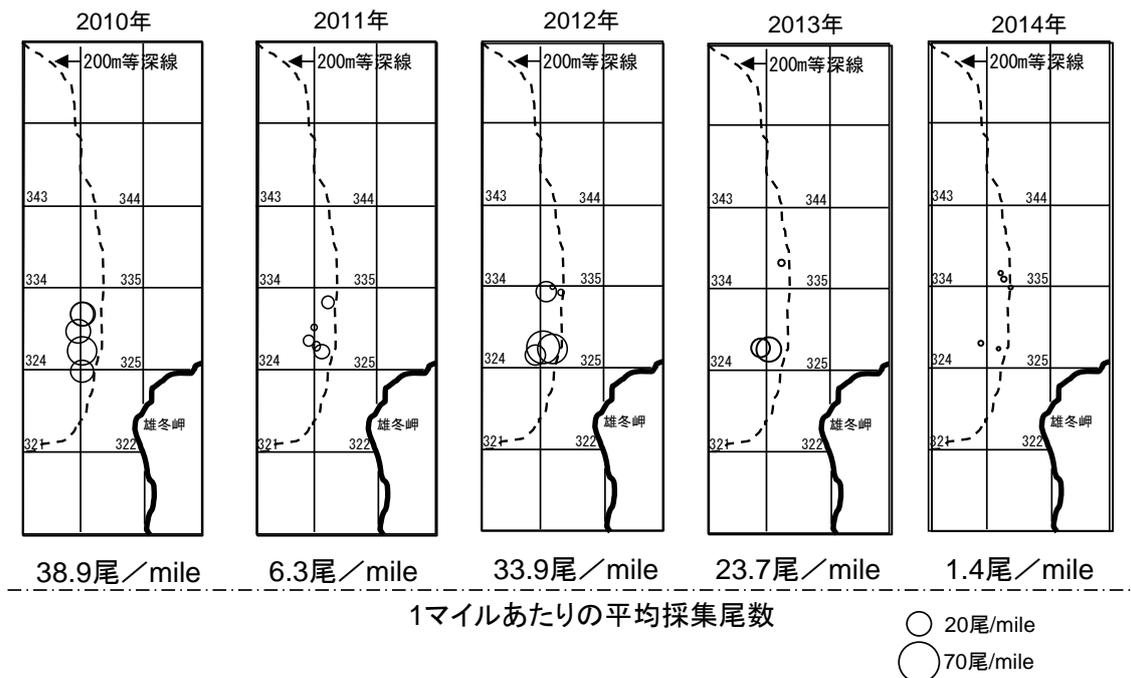


図1 9月トロール調査による採集尾数

## 2. ハタハタの魚体と年齢 (図2)

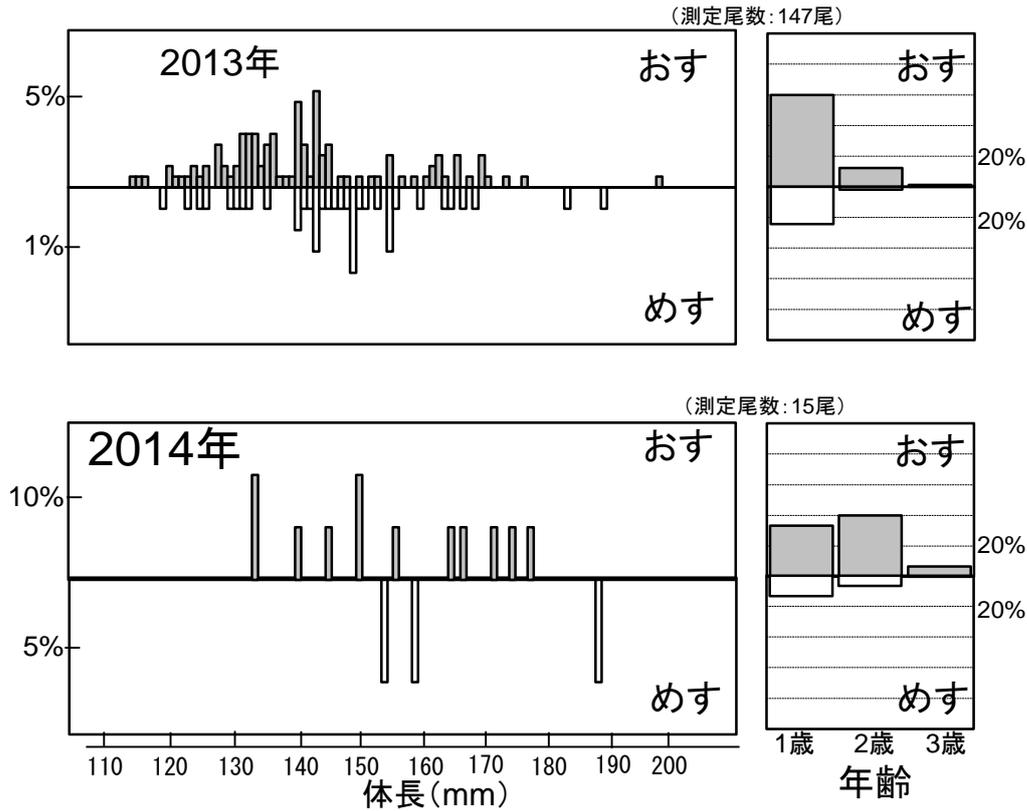


図2 今回の調査で採集されたハタハタの体長組成と年齢組成  
上段図：昨年（2013年）調査 下段図：今回の調査

採集量が少ないため、今回の調査で今期の漁獲対象となるハタハタのサイズや年齢組成ははっきりとしませんでした。雌雄ともに体長は130 mm以上で、ここ数年に見られた130 mmに満たない小型の未熟魚は採集されませんでした。雌雄を合わせた年齢比では1歳、2歳がほぼ同数でした。漁獲物組成については今後の漁獲物調査や次回のトロール調査の採集物と合わせ検討していく予定です。

## 3. 成熟状態 (図3)

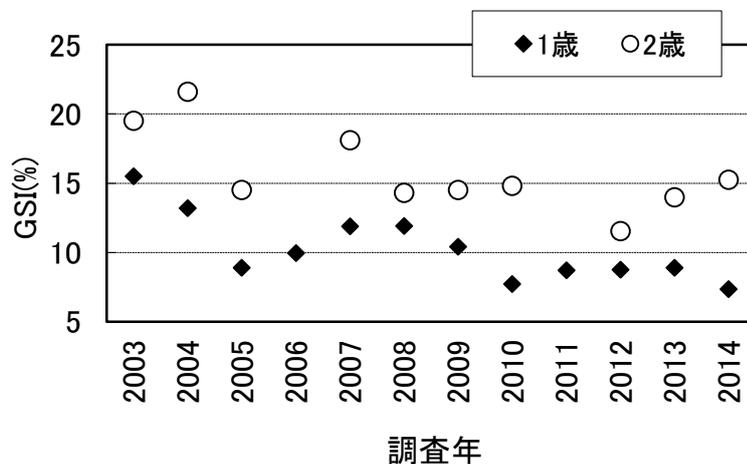


図3 毎年9月下旬のハタハタ雌のGSI (GSI=卵巣重量/内蔵除去重量×100)

ハタハタは成熟状態（生殖巣の発達状態）が進むにつれ、南下し沿岸にて産卵することが知られています。雌の体重に占める卵巣重量の割合（GSI）は産卵が近づくにつれて大きくなり、沿岸に来遊する頃には40前後の値となります。今回得られた標本のうち成熟状態にある雌個体のGSIに基づき、これまでの調査結果と対比するため9月末時点の値として推定しました。採集量が少ないためはっきりとはわかりませんが、1歳魚の成熟状態は前年と大差なく、今期についても近年と同じく遅めの来遊になるのではないかと考えられます。来遊時期の見通しについては、次回10月のトロール調査結果に基づき改めてお知らせする予定です。

#### 4. 水温（図4）

今回の調査の中で行ったCTDによる雄冬沖（321漁区北側～325漁区南側の範囲）の表層から底層にかけての水温測定結果を、過去5年の平均値と併せて示しました。

今年については近年のような特異的に高い水温帯などは見られず、表層から下層まで概ね平年並みの水温分布となっていました。

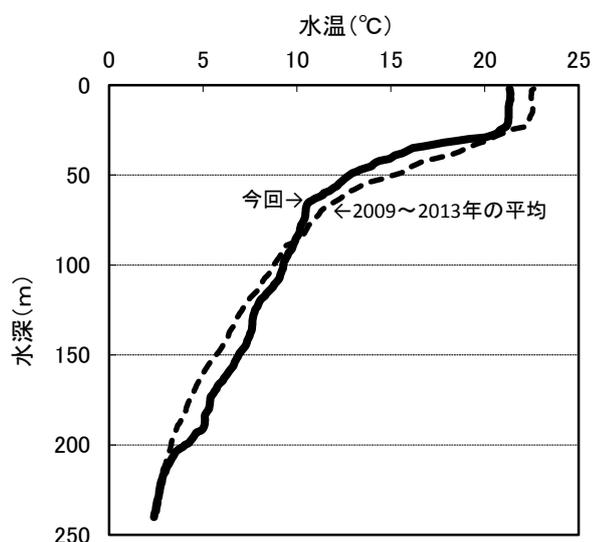


図4 雄冬沖の水温分布

#### 5. 今後の調査など

次回の北洋丸によるトロール調査は、10月中～下旬に雄冬沖のハタハタ分布域を含む海域で、ニシン、スケトウダラの分布調査を兼ね実施する予定です。例年のことではありますが、付近の海域で操業中の漁業者の皆様には何卒ご配慮いただきますよう、よろしく願いいたします。また、漁期中には漁獲物標本の採集調査も実施いたしますので、重ねてご協力をお願いいたします。